

指導の狙い 話し手の意図を捉えながら聞き、司会や記録などの役割を果たしながら計画的に話し合う。

問題の概要

- B①二(1) 司会として発言を聞き、意見の共通点と相違点を整理して書く。
B①二(2) 司会の発言の意図を説明したものとして適切なものを選択する。

学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A話すこと・聞くこと イ ウ

授業アイデア例

例1 は出題した内容を取り立てて指導する例

例2 は出題した趣旨を踏まえ単元化して指導する例

例1 協議における司会の役割を確認し、目的や意図を明確にして話し合いを進める。

1 協議(一つの結論に導く話し合い)の司会の役割について確認する。

2 ワークシートにおける話し合いの流れを踏まえ、**ア**に入る司会の発言を話し言葉で書く。

3 **ア**に書いた司会の発言の意図、よい点や問題点についてグループで話し合う。

4 司会は意図をもって発言することを確認した上で、実際にグループで**ア**の続きの話し合いを行い、その展開の違いをまとめる。

【協議のワークシートの例】

司会

ア

～(話し合いが続く)～

～(意見が続く)～

司会 Aさんは、「外で遊ぶこと」を提案していますが、皆さんはどう考えますか。

B Aさんに賛成します。外で遊ぶと気持ちよいのもそうですが、加えて体力が向上するからです。

C わたしは、Aさんの提案に反対です。たしかに、外で遊ぶと気持ちよくなると思います。でも、本が好きな人たちは読書をするので気分がよくなる人もいます。

A 屋休みの過ごし方としては、できるだけ外で遊ぶようにしたらよいと思います。それは、体を動かすことで気持ちよくなるからです。

【**ア**の中に入る例として考えられる司会の発言】

【共通点・ちがう点を整理する場合】
BさんとCさんの考えは、外で遊ぶと気持ちよいという点が共通しています。でも、気持ちよさというのは、人によってちがうことに気を配ったほうがよいという考えがちがいます。皆さんはどう考えますか。

【考えを確かめたり、深めたりする場合】
・Cさんは、屋休みに外遊びをする必要はなく、自由に過ごすという考えですか。
・Cさんは、Bさんが考える体力向上についてどう思いますか。
・Cさんと同じような考えの人はいますか。

例2 協議と討論における司会として様々な状況に対応しながら、話し合いをよりよい方向に導く。

第一次

- 以前、学級で行った話し合いのビデオを視聴し、司会の進め方の問題点について話し合う。
- 学習課題「話し合いの様々な状況に対応する司会名人になろう」を設定し、学習計画を立てる。

第二次

- 学級を協議と討論の二つのグループに分け、議題に沿って話し合いをする。
- 話し合いの状況を捉え、ヒントカードを使って発言を考え、交代しながら話し合いを進める。(司会はグループ全員が行うこととし、話し合いの様子をビデオで撮影する。)

第三次

- ビデオを視聴し、協議と討論の司会の進め方として大切なことを話し合う。
- 話し合いの様々な状況に対応しながら、進める司会の役割を果たすことについてまとめる。

【協議の例】

「学級の旗のデザイン」を決める

～(中略)～

司会

ヒントカード

～(話し合いが続く)～

～(意見が続く)～

【ヒントカードの説明】

下記の①から⑥のよう司会の進め方のポイントをもとめたもの

- 【ヒントカードの例】
- ①意見や提案を整理する
これまでに出た考えをまとめ、まとめることにつなげる。
 - ②理由や根拠を求めよう
具体的な理由や根拠を明確にするように求める。
 - ③多くの人に発言を求めよう
まだ考えを述べていない人に発言を求めよう。
 - ④出された考えを比べよう
出された考えのよい点と問題点を明確にする。
 - ⑤合意を得て結論に導く
考えを出し切ったことを確認し、多数決をとる。
 - ⑥時間に気を配る
〇分以内に結論をまとめて話し合いを終わる。

【協議における司会の進め方について考えたこと】
協議における司会は、多くの人に考えや理由を求めた上で、話し合いを公平な立場で進めることが大切だと思いました。

【討論における司会の進め方について考えたこと】
討論における司会は、様々な立場の考えや理由を大切に、それらに関係付けながら話し合いを進めることが重要だと思いました。

留意点

小学校学習指導要領解説国語編(平成20年告示)では、「A話すこと・聞くこと」の〔第1学年及び第2学年〕において、互いの話を集中して聞き、その内容を話し合いの流れの中で位置付け、今後どのように展開するのかなどを考えるように指導することを求めている。〔第3学年及び第4学年〕においては、進行表に沿って進行することを学び、徐々に話し合いが目的に応じて適切に進行するように提案者や参加者の発言を整理したり、促したり、まとめたりすることができるように指導することを求めている。第1学年から計画的に指導することが大切である。